

福岡市総合図書館

映像ホール

FUKUOKA CITY  
PUBLIC LIBRARY  
MOVIE HALL

# シネラ

# NEWS

3

MARCH

1999 No.32



街の灯

## ■特集■

あの作品をもう一度  
シネラ・アンコール特集

## ■特別企画■

インドネシア映画史の代表作を上映  
インドネシア映画特集

### 特別講演

ミスバ・ユサ・ピラン (シネマテーク・インドネシア所長)  
クリスティン・ハキム (女優)

鮮烈! NIPPON NEW CINEMA

ぴあフィルム

フェスティバル in 福岡'99

サイレント映画 弁士・楽団付上映  
チャップリンの街の灯



西鶴一代女

# 特別企画 インドネシア映画史の代表作を上映

## インドネシア映画特集

東南アジア最大の大きさを持つ国であり、独自の文化をはぐくむインドネシア。日本ではほとんど上映される機会のないインドネシア映画の歴史的な代表作を特集。

主催：インドネシア映画特集実行委員会、福岡市総合図書館  
会期：3月6日(土)～3月7日(日)／3月10日(水)～3月14日(日)  
観覧料：800円(大人)／600円(大学生・高校生)／400円(中学生・小学生)

※定員制・各回入替制 ※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。  
※福岡市在住の障害者及び福岡市在住の65歳以上の方は400円。(手帳の提示が必要です。)

3月10日(水)14:00／3月13日(土)15:00  
三人姉妹 TIGA DARA



1956年／35ミリ／モノクロ(115分)／インドネシア[日本語字幕付き] 監督：ウスマル・イスマイル 出演：チトラ・テウイ、ミカ・ウイジャヤ

母親を亡くし、父と祖母の手で育てられたヌン、ナナ、ネニーの美しい三人姉妹の物語。母親がわりで控えめな長女ヌンを結婚させようと、家族のみんなが計画を練るという内容のミュージカル・コメディで、ウスマル・イスマイル監督50年代の代表作。

3月6日(土)11:00／3月11日(木)14:00  
初恋 CINTA PERTAMA



1973年／35ミリ／カラー(111分)／インドネシア[日本語字幕付き] 監督：トゥグ・カルヤ 出演：クリスティン・ハキム、スラメット・ラハルジョ・ジャロット

裕福な家庭の一人娘アデは設計技師バステアンと恋に落ちる。ところがバステアンに殺人犯として服役した過去がある事を知ったアデの両親は、二人の交際を禁止し、アデと富豪の息子とを婚約させる。インドネシアを代表する女優クリスティン・ハキムの記念すべきデビュー作である。

3月12日(金)14:00／3月14日(日)11:00  
少女ポニラー PONIRAH TERPIDANA



1983年／35ミリ／カラー(108分)／インドネシア[日本語字幕付き] 監督：スラメット・ラハルジョ・ジャロット 出演：クリスティン・ハキム、ライ・サハタビ

ポニラーは裕福な家の少女だったが、父親はポニラーを忌み嫌っており、メイドのリンディルだけが彼女の味方だった。しかし高校生となったポニラーはジャカルタに仕事があると誘われ、リンディルの反対をふりきって家を出てしまう。国内映画祭で作品賞・監督賞など11もの賞を独占した傑作。

3月12日(金)19:00／3月14日(日)15:00  
砂利道 KERIKIL KERIKIL TAJAM



1984年／35ミリ／カラー(122分)／インドネシア[日本語字幕付き] 監督：シュマンジャヤ 出演：クリスティン・ハキム、ウェンティ・アングライニ

中部ジャワのチラチャップ村、女子高生のレトノは両親と妹のインテンと情ましく暮らしていた。レトノは妹と二人で町に働きに行こうとするが、危うく身売りされそうになる。町を逃げ出した姉妹はジャカルタを目指して旅に出る。近代化が進む80年代のインドネシア社会状況を痛烈に批判した傑作。

3月10日(水)19:00／3月13日(土)11:00  
ドゥルの少年期 SI DOEL ANAK BETAWI



1973年／カラー／35ミリ(86分)／インドネシア[日本語字幕付き] 監督：シュマンジャヤ 出演：ラノ・カルノ、フィフィ・ユン

ジャカルタ郊外に住む少年ドゥルは突然父親が事故死してしまい、生活のため母の菓子売りの手伝いをしなければならなくなる。ドゥルの夢はみんなと一緒に学校へ行くことだった。この作品は当時記録的なヒットとなり、ドゥルの名前を知らぬ人はいないと言われるほど人気となった。

3月6日(土)15:00／3月11日(木)19:00  
蚊帳の中 DIBALIK KELAMBU



1982年／35ミリ／カラー(94分)／インドネシア[日本語字幕付き] 監督：トゥグ・カルヤ 出演：クリスティン・ハキム、スラメット・ラハルジョ・ジャロット

ハサンは妻・ヌルレラの父親の家に同居しており早く独立したいと思っていたが、生活に追われてままならなかった。そしてハサンは上司と噂をして会社を辞め、ヌルレラに内緒でタクシーの運転手になってしまう。本作は70年代から80年代の人気コンビ、クリスティン・ハキムとスラメット・ラハルジョの代表作である。

3月7日(日)15:00  
チュッ・ニャ・ディン TJOET NJA' DHIEIN



1988年／35ミリ／カラー(109分)／インドネシア[日本語字幕付き] 監督：エロス・ジャロット 出演：クリスティン・ハキム、スラメット・ラハルジョ・ジャロット

19世紀後半、スマトラ島北部のアチェ王国の指導者トゥク・ウマールとその妻チュッ・ニャ・ディンのオランダとの戦いを描いた作品。チュッ・ニャ・ディンは独立戦争の英雄として今も多くの人々に愛されている。本作はカンヌ映画祭に正式出品されている。

# 特集 あの作品をもう一度

## シネラ・アンコール特集

平成10年1月から12月までの間に映像ホール・シネラで特集上映した作品から、人気の高かった作品をアンコール上映。

会期：3月3日(水)～5日(金)／3月24日(水)～26日(金)  
観覧料：500円(大人)／400円(大学生・高校生)／300円(中学生・小学生)

※定員制・各回入替制 ※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。※福岡市在住の障害者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は半額。(手帳の提示が必要です。)

### 特別講演

#### インドネシア映画小史 クリスティン・ハキムを中心に

日時：3月7日(日) 13:00

出演：ミスバ・ユサ・ピラン  
(シネマテーク・インドネシア所長)  
クリスティン・ハキム(女優)

入場料：無料

※開場は開演の30分前。  
※3時の講演をご覧になる方は一度退場の上、再入場していただきます。

73年「初恋」でデビュー以来、20年以上にわたりインドネシアを代表する女優として、アジアのみならず世界的に活躍する女優のクリスティン・ハキム。昨年新作「枕の上の葉」で東京国際映画祭審査員特別賞を受賞し、インドネシア映画に新たな1ページを加えたばかりの彼女の足跡は、そのまま現代インドネシア映画史となる。またミスバ・ユサ・ピラン氏は50年代より俳優・監督として活躍し、現在はインドネシア映画の保存を行うシネマテーク・インドネシアの所長を務めている。また、評論家として活躍するインドネシア映画界の重鎮である。二人の講演をご覧になると高く評価される映画史を俯瞰する。

3月3日(水)14:00／3月4日(木)19:00  
西鶴一代女



1952年／35ミリ／モノクロ(137分)／新東宝 監督：溝口健二 出演：田中絹代、三船敏郎

井原西鶴の「好色一代女」を原作としており、溝口健二監督の最高傑作と評価される作品。封建制度の中で自我を貫こうとした女の悲劇が奇麗に描かれており、田中絹代が一世一代ともいえる名演技を見せている。ヴェネチア映画祭監督賞受賞。

3月3日(水)19:00／3月5日(金)14:00  
人情紙風船



1937年／35ミリ／モノクロ(86分)／P.C.L. 監督：山中貞雄 出演：中村錦右衛門、河原崎長十郎

妻と二人でいつか仕官する日を夢見る海野又十郎、博打ちの髪結いの新三など貧乏長屋に住む人たちの悲哀と苦悩が見事タッチで描かれた天才監督・山中貞雄の現存する代表作。この作品の完成後、山中監督は戦場に赴き、わずか29歳で帰らぬ人となる。

3月4日(木)14:00／3月5日(金)19:00  
山の音



1954年／35ミリ／モノクロ(95分)／東宝 監督：成瀬巳喜男 出演：原節子、山村聰

川端康成の同名小説の映画化作品。鎌倉に住む定年間近の男と、息子の嫁との交流を描いた成瀬監督の傑作。登場する家族の個性が細かく描かれているが、特に新妻役の原節子が素晴らしい。川端文学の繊細な美意識が見事に映画化されていると高く評価される作品。

3月25日(木)14:00／3月26日(金)19:00  
恋人たちの食卓 Eat Drink Man Woman



1994年／35ミリ／カラー(124分)／台湾[日本語・英語字幕付き] 監督：李安(リー・アン) 出演：郎雄(ロン・ション)、楊貴媚(ヤン・クイメイ)

台北の高級ホテルのシェフであるチュウは早くに妻を亡くし、男手一つで三人の娘を育てていた。それぞれ結婚や恋愛問題を抱える三人の娘だが、ある日隣に未亡人が引っ越してきて、家に遊びに来るようになる。贅沢な料理が楽しめる心温まるホームドラマである。

3月24日(水)14:00／3月25日(木)19:00  
長靴をはいた猫



1969年／35ミリ／カラー／アニメーション(80分)／東映 監督：矢吹公郎

シャルル・ペローの童話を原作にして、井上ひさし等が脚本を執筆した作品で、原作にはない猫の殺し屋トリオやネズミ達が増えられた。アニメーション・コメディの傑作。宮崎駿が原画に参加するなど、質の高いアニメーションも見物である。

3月24日(水)19:00／3月26日(金)14:00  
成春香 The Story of Sung Chun-hyang



1961年／35ミリ／カラー(109分)／韓国[日本語字幕付き] 監督：申相玉(シン・サンオク) 出演：崔銀姬(チェ・ウニ)、金振奎(キム・ジンギョ)

李朝時代に書かれた韓国文人ら誰とも知っている愛の古典「成春香」の映画化作品。シン・サンオク監督夫人であるチェ・ウニが、純愛に生きる主人公チュンヤンを熱演している。「成春香」は韓国では12回も映画化されているが、本作も公開当時大ヒットを記録している名作である。

ぴあフィルムフェスティバル in 福岡'99 Vol.1

自主製作映画の日本最大のコンペティション、ぴあフィルムフェスティバル(PFF)の過去の名作、話題作と福岡未公開の若手監督による最近超話題の作品群を一挙上映。

主催：ぴあフィルムフェスティバル in 福岡実行委員会、福岡市総合図書館、ぴあ株式会社

会期：3月19日(金)~22日(月・祝)

観覧料：1,000円(当日1回)/800円(前売り1回券)/3,500円(5回券/前売りのみ 100枚限定)

※定員制・各回入替制 ※障害者割引及び高齢者割引はありません。 ※前売りはチケットぴあ (tel 092-708-9999) にて販売。 ※PFF事務局 TEL 03-3265-1425

3月21日(日)16:00  
FOUR FRESH!



「怯える」1998年/16ミリ/カラー/34分/監督：古澤 健  
「はるのそら」1998年/16ミリ/カラー/38分/監督：松本知恵  
「死臭のマリア」1998年/16ミリ/カラー/27分/監督：伊藤晋  
「鼻の穴」1998年/16ミリ/カラー/30分/監督：福見一茂

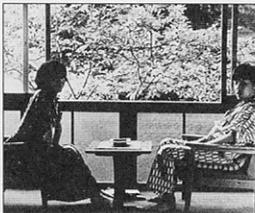
新しい映画の才能の発見と育成を目的に97年に開講した映画美術学校から送り出された最初の作品群。キラリと個性が光る4本を上映。

3月19日(金)13:30  
シンク



1997年/VTR/カラー/85分/監督：村松正浩  
PFF97グランプリ受賞作。98年にシンガーデビューした松崎ナオをヒロインに、優しくて、哀しくて、心地よい三人の仲間の不思議なシンクロナシティの物語。98年12月東京で大ヒット公開中。

3月20日(土)18:30  
つげ義春ワールド



「退屈な部屋」1998年/VTR/カラー/30分/監督：豊川悦司  
「懐かしいひと」1998年/VTR/カラー/30分/監督：豊川悦司  
「散歩の日々」1998年/VTR/カラー/30分/監督：長尾直樹

昨年テレビ東京のドラマシリーズとして放送された作品。豊川悦司が初監督に挑戦し、つげ義春の世界を蘇らせる。主演：橋口亮輔

3月22日(月・祝)11:00  
草の上の仕事/RUNNING HIGH!



「草の上の仕事」1993年/16ミリ/カラー/42分/監督：篠原哲雄  
「RUNNING HIGH!」1989年/8ミリ/カラー/26分/監督：篠原哲雄

「RUNNING HIGH!」は篠原監督PFF89入選作・早朝の公園で自転車の少女に出会ったことで、警察に追われる男の物語。「草の上の仕事」は夏の日に広大な草原の草を刈るバイトをする男を描いた作品。爆笑問題の太田光主演。

3月19日(金)16:00  
はなされるGANG



1984年/8ミリ/カラー/85分/監督：諏訪敦彦  
PFF85年入選作。耳の聞こえないギャングと文庫本を読む少女の逃避劇。シーン毎に撮影された日付が記され、ほぼ順番通りに撮影された作品であり、映画の本質に迫ろうとする試みがなされている。

3月21日(日)11:00  
ドッグス



1997年/VTR/モノクロ/78分/監督：長崎俊一  
空巻近くの路上に荷物を置き、通りを見つめる女がいた。主人公・笠谷美樹はテレビに人生を支配されたくなくて刑事になった。そしてかつての事件を思い返す。

3月22日(月・祝)13:30  
恋、した



「オールドタウンで恋をして」1998年/VTR/カラー/30分/監督：篠原哲雄  
「ブラディーマリーの誘惑」1998年/VTR/カラー/30分/監督：篠崎 誠  
「出走!ラヴィアン・ローズ」1998年/VTR/カラー/30分/監督：橋口亮輔

テレビ東京で放送された深夜ドラマシリーズ。「カクテル」をキーワードに新進監督が描いた恋人、友人、そして女心のドラマ。

3月19日(金)18:30  
2/DUO



1996年/35ミリ/カラー/90分/監督：諏訪敦彦  
二人でいるがゆえの孤独や焦燥感。誰も感じたことがないギャングと文庫本を読む少女の逃避劇。シーン毎に撮影された日付が記され、ほぼ順番通りに撮影された作品であり、映画の本質に迫ろうとする試みがなされている。

3月21日(日)13:30  
いつものように



1997年/35ミリ/カラー/118分/監督：けんもち聡  
それぞれの想いを秘め、出会いのひとときを過ごす男女3人を描き、東京で大ヒットしたインディペンデント映画。なにげない時間のいとおしき、人間の温もりを見つめるまざしが心に残る青春物語。

3月22日(月・祝)16:00  
ヒロイン!



1998年/35ミリ/カラー/100分/監督：三原光寿  
大阪の下町商店街を舞台に、ふとしたきっかけでバレーボールを始めた主婦達に繰り広げる熱血人情スポ根ドラマ。主婦達は廃れかけた商店街を救えるのか。主演は室井滋。

3月20日(土)13:30  
ワンピース '97-'98



1997年~98年/VTR  
矢口史靖監督と鈴木卓爾監督が編み出した超低予算、超小規模映画である「ワンピース」。編集もアフレコもないワンシーン・ワンカットによる1話完結ドラマ。「やさしい悪魔」「走れエロス」「うららかぶらから」等、97年から98年に撮影された最新作10本を上映。上映時間約60分

3月20日(土)16:00  
二十才の微熱



1992年/16ミリ/カラー/100分/監督：橋口亮輔  
92年にPFFスカラシップ作品として製作された映画で、「渚のシンドバット」の橋口亮輔第一回監督作品。今の都会に生きる若者達の息づかいを感性豊かに瑞々しく描き出した作品。

特別企画/サイレント映画VOL.3

チャップリンの街の灯



なつかしの映画を活弁で紹介するサイレント映画第3回は、サイレント時代の喜劇王で今なお多くの人に愛されるチャップリンの名作「街の灯」を上映。

会期：3月28日(日)14:00

観覧料：1000円

(当日/但し往復ハガキによる申し込みが必要)

上映作品 街の灯 CITY LIGHTS

1931年/モノクロ/サイレント(84分)  
監督：チャールズ・チャップリン  
出演：チャールズ・チャップリン、ヴァージニア・チェリル  
弁士：澤登翠  
楽団：カラード・モントーン  
湯浅丈一(指揮・ギター)  
木ノ下亮子(ヴァイオリン)  
鈴木真紀子(フルート)  
足立克巳(パーカッション)



弁士：澤登翠

街の浮浪者と盲目の花売りの恋物語で、人生の悲哀、社会批判が描かれており、この映画のラストシーンは世界中の人が絶賛した。チャップリン前期の代表作であり、日本でも当時空前のロングランを記録している。

申し込み方法 往復ハガキに住所、氏名、電話番号、郵便番号、「街の灯観覧希望」と記入の上、下記住所までお申し込み下さい。応募締め切りは3月15日まで。応募多数の場合は抽選とします。お一人様往復ハガキ1枚で応募して下さい。

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号  
福岡市総合図書館 映像資料課宛

▼ 映像ホール・シネラスケジュール

月	日	曜日	内容		
3	1	月	休館日		
	2	火	上映はありません		
	3	水	14:00 西鶴一代女	19:00 人情紙風船	
	4	木	14:00 山の音	19:00 西鶴一代女	
	5	金	14:00 人情紙風船	19:00 山の音	
	6	土	11:00 初恋	15:00 蚊帳の中	
	7	日	13:00 講演: ミスバ・ユサ・ピラン クリスティン・ハキム	15:00 チュツ・ニヤ・ティン	
	8	月	休館日		
	9	火	上映はありません		
	10	水	14:00 三人姉妹	19:00 ドゥルの少年期	
	11	木	14:00 初恋	19:00 蚊帳の中	
	12	金	14:00 少女ボニラー	19:00 砂利道	
	13	土	11:00 ドゥルの少年期	15:00 三人姉妹	
	14	日	11:00 少女ボニラー	15:00 砂利道	
	15	月	休館日		
	16	火	上映はありません		
	17	水	上映はありません		
	18	木	上映はありません		
	19	金	13:30 シンク	16:00 はなされるGANG	18:30 2/DUO
	20	土	13:30 ワンピース '97-'98	16:00 二十才の微熱	18:30 つげ義春ワールド
	21	日	11:00 ドッグス	13:30 いつものように	16:00 FOUR FRESH!
	22	月・祝	11:00 草の上の仕事/ RUNNING HIGH!	13:30 恋、した	16:00 ヒロイン!
	23	火	休館日		
	24	水	14:00 長靴をはいた猫	19:00 成春香	
	25	木	14:00 恋人たちの食卓	19:00 長靴をはいた猫	
	26	金	14:00 成春香	19:00 恋人たちの食卓	
	27	土	自主上映「百年の絶唱」他		
	28	日	14:00 サイレント映画VOL.3/チャップリンの街の灯		
	29	月	休館日		
	30	火	上映はありません		
	31	水	休館日		

※満席の場合、入場をご遠慮いただく場合がございますので御了承ください。

各団体の自主上映

3月27日(土)「百年の絶唱」(監督:井土紀州)

※監督舞台挨拶及び併映作品あり

主催:電ノコニ刀流 TEL:092-865-9861

※内容など詳細については、直接主催者にお問い合わせ下さい。

ギャラリー展示

福岡文学資料展「福岡の作家・その素顔と作品」

福岡在住の作家4人(白石一郎、夏樹静子、高樹のぶ子、杉本章子)の素顔やその作品世界を、愛用品や写真などで展示紹介します。

会期:2月21日(木)~3月21日(日)

会場:福岡市総合図書館1階ギャラリー

観覧料:無料

ビデオ編集技術研修室のご案内

ビデオ研修室では、家庭で撮影された8ミリビデオや各行事の記録ビデオの編集などにご利用できます。

(使用料1時間500円、連続使用3時間迄、デジタルビデオの編集は不可)

※詳しくは福岡市総合図書館映像資料課まで

シネラNEWS送付のご案内

シネラで上映する作品の紹介や上映スケジュール、図書館で開催される各種イベント等の情報を満載した「シネラNEWS」を毎月お届けします。定期購読を希望される方は99年4月より2000年3月号迄の月数分の郵便切手(90円切手×月数分)を同封して下記宛先までお申し込み下さい。

宛先:〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号  
福岡市総合図書館映像資料課まで

映像ホール利用申し込みについて

平成11年7月以降映像ホールで図書館の企画上映がない下記の期間は、映像ホールを有料で利用することができます。(但し映像文化の普及振興を目的とした非営利の映画会の利用に限る)

期間:平成11年7月28日(水)~8月1日(日)

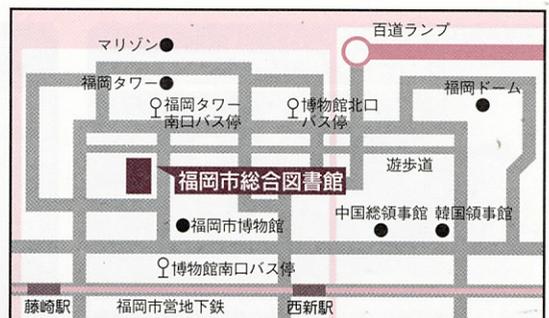
平成11年8月25日(水)~8月28日(土)

※但し7月29日(土)は休館日

7/28~8/1は2月2日(火)11時より受付

8/25~8/28は3月2日(火)11時より受付

利用に関しては条件等がございますので、詳しくは福岡市総合図書館映像資料課TEL:092-852-0608までお問い合わせ下さい。



交通機関:地下鉄西新駅および藤崎駅より徒歩15分  
西鉄バス博物館南口および  
福岡タワー南口バス停留所より1分  
都市高速百道ランプより車で2分



Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là

福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

印刷:(株)ドミックスコーポレーション

お問い合わせは

福岡市総合図書館(代):092-852-0600 映像資料課:092-852-0608 Fax:092-852-0609



古紙配合率30%再生紙を使用しています